

『北海道高齢者向け住宅事業者連絡会』 第6回理事会 議事録

(議事録作成：事務局 立花)

日 時：2013年 1月30日(水)13:30～15:00

会 場：楽ゆう館南1条 2階食堂(中央区南8条西3丁目)

出席者：(理事)奥田龍人、鹿野憲、石田幸子、川尻明、近美津子、小番一弘、沼田典子
(事務局)立花和浩

欠席者：(理事)狩野美香子

※敬称略

私は、本議事録を確認したことを証し、署名する。

議長： 奥田 龍人
(会長、理事、奥田社会福祉士事務所)

議事録署名人： 近 美津枝
(理事、(株)理想ケアサービス)

議事録署名人： 小 番一弘
(理事、ウエルネス中島)

【会議次第】

- 1 理事定数の確認
- 2 議事録署名人の指名
- 3 報告事項

1) 会員の現状について(1月25日現在)

- ・会員数現状 正会員 58 事業者(前回より5事業所増)

会員の所有または運営住宅数 109(一部未開設を含む)

賛助会員 61 社・個人(前回より1事業所増+4月寄りの申し込み1社)

*なお、年明け後の入会申し込み者は会費半額、または4月以降の申し込みとして
いただくよう伝えています。

2) 経理の状況について

- ・別紙のとおり

3) 第1回「高住連市民セミナー兼第1回職員研修会」報告

12月8日(土)13:30～16:30 北海道自治労会館4F ホール

有料入場者数 88 名+出演者・スタッフ 13 名 合計 101 名

テーマ：高齢者向け住宅と新しいサービスは地域包括ケアの切り札となりうるか？

①基調講演『地域包括ケアと高齢者向け住まいについて』

講師：山口 義敬 氏

(厚生労働省老健局高齢者支援課(併)振興課 高齢者住宅対策専門官)

②シンポジウム『高齢者向け住宅と新しいサービスは地域包括ケアの切り札となりうるか?』

シンポジスト：加藤 学 氏、鹿野 憲氏、安田 剛氏

コーディネーター：奥田 龍人 助言者：山口 義敬氏

*反省点：①思った以上に集客ができなかった(赤字)。

②住宅職員向けに日時時間設定もしたが思いのほか該当者が少なかった。

③シンポジウムが時間切れでテーマの掘り下げにまでには至らなかった
(アンケートでも指摘あり)。

4) 第1回「看取り」勉強会報告

12月5日(水) 18:30～ シーズネット研修室 会員15名+事務局1名

テーマ：公証人役場を利用した看取り支援の取り組み

講師：高橋 澄恵 氏 (高橋澄恵行政書士事務所代表)

- ・第2回「看取り」勉強会は2月の開催予定(前回同様HPおよびメーリングリストによる告知による)次回テーマは検討中(理事よりアイデア募集)

5) 次回勉強会について

- ・次回勉強会は日程的には1月予定ですが、開催できる状況にはないので次年度に延期します

6) 事業者向け見学会に向けてのアンケート調査について

- ・別紙「アンケート(案・前理事会提出済み)」参照、次回ニュースレターに同封予定その他

7) その他

- ・ニュースレター第3号は2月中旬以降の予定
- ・シルバー新報の定期購読を1月より開始

5 協議事項

1) 第2回住宅フェアの開催について

- ・今回は、高住連(展示)+シーズネット(セミナー)の共催
- ・1月22日よりHPおよび会員メーリングリストにより出展募集開始、近日中に情報誌掲載依頼と合わせ、会員外住宅にも郵送予定(別紙企画書、レイアウト図参照)
- ・30日現在(2月5日締め切り予定)、ブース出展8社、パンフレット出展3社
- ・セミナーの内容について・・・2事業に関するセミナー(決定)+一般市民向けセミナー(未定・協議)
- ・広告宣伝について(別紙見積書参照)・・・道新広告を検討いただきたい

2) 老健事業(高齢者向け住宅の評価制度導入に関する調査研究事業)の進捗状況及び協力について

- ・1月19日(土)「自己評価研修会」開催、22事業者参加
- ・2月4日～相互評価を実施予定(手上げおよび日程調整中)、検討委員会委員の理事には協力を

お願いします

- ・ 3月17日の住宅フェアにて報告会開催、4月初めにガイドラインを道内住宅事業者に送付予定

3) 高齢者等居住安定化推進事業（サービス付き高齢者向け住宅相談員養成研修事業）の進捗状況及び協力に

ついて

- ・ 現在テキスト執筆・監修中
- ・ 30日現在講習申し込み数32名、さらに理事の運営住宅からの参加協力をお願いしたい
- ・ 2月9日（土）～相談員養成研修開始

4) その他

- ・ 民医連主催セミナーに協賛・金額負担および奥田会長の後援依頼について
- ・ あんしん住まいサッポロ編集の「（仮称）2013年版シニア住まい情報さっぽろ」夏発刊予定、高住連としても掲載および広告等の呼びかけに協力
- ・ 新規助成事業（社会福祉進行助成事業・別紙資料参照）：
「虐待高齢者の受け皿づくり」について

- ・ 次回の理事会開催

日時：4月中旬

議題：総会開催等について

次回理事会の日程

4月中旬 13：30～

【議事内容】

1 理事定数の確認

- 奥田・石田・鹿野・川尻・小番・近・沼田の7理事出席
- 8名中7名で、3分の2を満たしているので理事会の成立を宣言

2 議事録署名人の選任

- 小番理事・近理事を選任

3 報告事項

1) 会員の現状

立花事務局員より報告（1月25日現在）

- 会員数現状 正会員 58 事業者（前回より5事業所増）

会員の所有または運営住宅数 109（一部未開設を含む）

賛助会員 61 社・個人（前回より1事業所増＋4月寄りの申し込み1社）

＊なお、年明け後の入会申し込み者は会費半額、または4月以降の申し込みとして
いただくよう伝えています。

2)経理の状況について

- 奥田会長より、別紙「収支表」に基づき、4月以降1月末まで会計状況の報告がなされ、1月末現在で、約20万円の手持ち資金残となっているとの説明がなされた。

3)第1回「高住連市民セミナー兼第1回職員研修会」報告

- 立花事務局員より説明。101名の参加者があったことと、当日の内容について説明・報告がされた。

4)第1回「看取り」勉強会報告

- 立花事務局員より参加者数は16名であったことと、当日の様子について説明・報告された。

5)次回勉強会について

- 奥田会長より、次回勉強会は日程的には1月予定ですが、開催できる状況にはないので次年度に延期しますとの説明がなされた。

6)事業者向け見学会に向けてのアンケート調査について

- 受ける方に何らかのメリットがなければいけないとの意見が出た（年会費の優遇、広告の提供など）

7)その他

- ニュースレター第3号は2月中旬以降の予定
- シルバー新報の定期購読を1月より開始

5 協議事項

1)第2回住宅フェアの開催について

- 今回は、高住連（展示）＋シーズネット（セミナー）の共催
 - ・展示会場とセミナー会場が分離する。
 - 1月22日よりHPおよび会員メーリングリストにより出展募集開始、近日中に情報誌掲載依頼と合わせ、会員外住宅にも郵送予定（別紙企画書、レイアウト図参照）
 - ・30日現在（2月5日締め切り予定）、ブース出展8社、パンフレット出展3社
 - ・セミナーの内容について・・・2事業に関するセミナー（決定）＋一般市民向けセミナー協議の結果、一般市民セミナーには、東京より日本社会福祉事業大学の井上由起子氏、およびあんしん住まいサッポロの西原桂子センター長に依頼することになった。
- 広告宣伝について（別紙見積書参照）・・・事務局より道新の広告掲載の提案がなされたが、費用が約40万円と高額のため今回は見送ることにした。フリーペーパーへの掲載依頼、あるいは広告を今後は検討することにした。

2)老健事業(高齢者向け住宅の評価制度導入に関する調査研究事業)の進捗状況および協力について

- 1月19日（土）「自己評価研修会」開催、22事業者参加。
 - アンケートを徴収したところ評価するのは難しいとの感想があった。
- ・2月4日～相互評価を実施予定（手上げおよび日程調整中）、検討委員会委員の理事に協力の依頼。
- ・3月17日の住宅フェアにて報告会開催、4月初めにガイドラインを道内住宅事業者に送付予定。

3)高齢者等居住安定化推進事業(サ高住等相談員養成研修事業)の進捗状況及び協力について

- 立花事務局員より現在の申込み人数が33名との報告があった。

4)その他

- 鹿野副会長より2月24日のコンベンションセンターにて民医連主催セミナーに協賛し協賛金額負担(¥20,000)および奥田会長への後援依頼があった。→高齢者向け住宅事業者連絡会として協力することになった。
- 奥田会長よりあんしん住まいサッポロ編集の「(仮称)2013年版シニア住まい情報さっぽろ」を3000部発行予定であるとの説明がされた。
- 奥田会長より新助成事業として「虐待高齢者の受け皿づくり」をテーマにWAMに応募する予定であることの説明がなされた。
- 来年の一般社団法人化に向けて検討する。
- 次回の理事会開催
4月9日(火)を予定。総会の開催等について開催。

以上で、第6回理事会を終了した。

閉会